

# ふれあい通信

令和3年7月20日発行



理事長兼園長 齋藤 賢史

救護施設羽生園の園長を14年間務めておりました早川前西熊会理事長が退任し、齋藤が令和3年6月1日付けで園長に、同6月15日付けで理事長に選任されました。私は昨年6月理事に選任され羽生園との関わりを持ち、本年4月から次長兼総務課長を務めておりました。

私は、これまで埼玉県福祉事務所や県本庁において長く生活保護業務に関わってまいりましたが、施設運営には不慣れですので、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

さて、救護施設は生活保護法に位置付けられており、年齢や性別、障害の種類や程度を問わず受け入れる施設です。これは障害者総合支援法に基づき障害者手帳や障害区分により実施される障害者サービスや、介護保険法に基づく要介護認定により行われる高齢者サービスとはかなり様相が異なります。

羽生園の現況で見ると、令和3年7月1日現在で入園者計102人。男性は50人で年齢は45歳から87歳で平均年齢67.7歳、平均在籍年数11年4か月。女性は52人で年齢は47歳から91歳で平均67.7歳、平均在籍年数16年11か月となっております。

また、障害の状況では、精神障害者保健福祉手帳所持者は76人、療育手帳所持者は20人、身体障害者手帳所持者は11人です（手帳の重複所持者18人を含む）。障害者手帳を所持していない方が13人おられますが、一人では日常生活を営む上での困難さを持っています。このように幅広い課題を持った方々が、同一の場所で生活をしています。

救護施設は、同傾向の課題を持った方々に対応する施設に比べ専門性では低くなりがちですが、多くの課題に対応するためそれぞれの入所者に見合った個別支援を実施しています。個別支援は、入園者の意向を尊重し、一人ひとりが生き生きとした生活を送り自己実現ができるよう考えていくものです。羽生園でも担当職員は各入園者との面接を繰り返し、希望・要望を聞き取り、個々の入園者が持つ課題の違いを踏まえながら支援を行っております。

また、救護施設の機能として、自立支援、地域生活移行支援が求められています。羽生園においても他施設・地域生活移行委員会が、生活支援課のみならず総務課、看護課の職員もメンバーとなり、毎月検討を行っております。

救護施設入所者における自立とは、経済的な自立ではありません。生活保護制度を前提としながらその他の制度によるサービスを活用し、地域や施設で生活していくための支援と考えています。このためには、福祉事務所をはじめとした関係機関との連携が不可欠となります。今後とも皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



私たちは、あなたを支えたい

羽生園

羽生園

2010



1970



2020



2021



50th

MEMORIAL HISTORY

お元気ですか

# 衣類出張販売



作業場を利用して多くの商品が陳列されます



似合う洋服ないかな？どれにしようかなあ～

買物外出ができない方が施設内でも買物ができるように、平成23年から衣類の出張販売店「お元気ですか」に来ていただいております。毎年6月、9月、12月、3月に2トン車のロングトラックの中にたくさんの衣類を詰め、作業場に約24本分のラックを並べてお店の雰囲気再現します。約2000点の衣類の中から好みの洋服を選ぶことができますので、皆さん出張販売を心待ちにしております。必要に応じて職員が試着やサイズ等のアドバイスをを行うので、皆さん安心して買物を楽しんでおります。



## 担当別話し合い



毎月、みなさんからの意見を確認しています

羽生園の入園者にはそれぞれ担当の職員が付いていますが、いくつかのグループに分け、月に一度グループごとに話し合いを行っています。話し合う内容は季節の行事についてのこと、園内での工事や修繕など園で生活する上での注意事項、感染症対策の徹底を促すための手洗い・うがいの衛生に関することなど多岐にわたります。10人程度の小規模に分けて話をするので個々に分かりやすいように話すことができ、入園者からの疑問や質問にもすぐ答えることができます。



# 旅行外出



豪華弁当を美味しくいただきました

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、毎年秋に実施している日帰りと一泊旅行は残念ながら中止する事となりました。そこで、旅行の代わりとなる「お楽しみ旅行外出」を計画しました。内容は、入園者全員を対象とした豪華弁当と外出を組み合わせた行事です。

豪華弁当は、見栄え・食べ応えのある物を入園者と一緒に選びました。普段食べることのできないメニューもあり、「美味しい」と嬉しそうに、ほとんどの方が残さず食べていました。

豪華弁当でおなかを満たした後は、羽生園近辺に新しくできた複合商業施設「フォルテ羽生」で買物を楽しみました。オープンして間もないため、新鮮な気持ちで少しでも旅行らしい雰囲気味わうことができ、ささやかながら生活に潤いと、楽しいひとときを提供することができました。



お菓子を選ぶ事も楽しみのひとつです

# サークル活動

入園者の余暇活動充実を目的として、様々なサークル活動を行っています。活動内容は、園芸・散歩・パソコン・絵画・書道・カラオケ・音楽と多岐にわたります。このうち、園芸と書道の活動を紹介します。園芸は、草花や球根を年2回植替えております。秋から冬の植え付けは、チューリップ、パンジー、ピオラ等で、春から夏は、日日草、サルビア、ひまわり、メランポジウム等を植えております。水やりや草取りは大変ですが、植物の成長が楽しみで、職員と一緒に活動しています。書道では、入所する前からやっていた方が参加するケースが多く、お手本のような綺麗な書に職員も驚かされます。



花の成長が楽しみです



お手本のような綺麗な書にびっくり

# 24時間テレビから、福祉車両が納車されました



日本テレビ放送網株式会社24時間テレビ事務局様から贈呈を受けた福祉車両が3月に納車されました。

車種は「トヨタ ハイエース（リフト付きバス）」で、車椅子2台を含めた計10人が乗車できる仕様となっております。

当園では、身体の不自由な方に加え、高齢化に伴い足腰が弱くなり、歩行が困難な方も増えてきております。

この福祉車両は、病院への受診や外出等に有効活用させていただくとともに、チャリティーにご協力いただいた皆様と24時間テレビ関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。



## リスクマネジメント委員会



薬の与薬前にも再確認をおこないます



防災備蓄品の見直しを行い準備しました

リスクマネジメント委員会では、入園者が安心・安全に生活を営むことができるよう、2ヶ月に一度会議を開いて様々な検討をしております。令和3年度の具体的な活動内容は5つです。

- ① ヒヤリ・ハットの「気付き」から予測される事故予防と、今までのインデント・アクシデントレポートの事例を活かして重大事故を減らすこと。
- ② 誤薬など薬に関する事故を減らすため、誤薬があると危険な薬とその服薬者を理解すること。
- ③ 無断外出をしてしまう入園者への対策として、無断外出時の搜索手順の図式化、対象者に対して園全体での見守りの体制確保に努めること。
- ④ 転倒予防として、園内歩行強化デーを設け、転倒に負けない身体作りに取り組むこと。
- ⑤ 防災備蓄品の管理を徹底して、有事には安全に備品の活用ができるようにすること。また、中庭の防災（水害）設備に取り組むこと。

# 長寿健康の集い



敬老者へ表彰と記念品の贈呈



敬老者へお祝いのうたを披露

令和2年9月23日「長寿健康の集い」が行われ、敬老者28人、健康優良者33人の表彰式と記念品の贈呈を行いました。敬老者は75歳以上の方、健康優良者は、昨年度医療機関への受診回数が0回もしくは1回のみだった方が対象です。今年はソーシャルディスタンスを意識し、座席の間隔を広く開けて行いました。敬老者と健康優良者の紹介を行い、ひとりずつ記念品が渡された後、音楽サークルで練習した「ふるさと」、「上を向いて歩こう」を披露していただきました。最後に敬老者代表の入園者から感謝の言葉をいただき、温かい雰囲気となりました。また、対象者以外の入園者にも祝賀の品としてお菓子を提供し、祝賀会終了後、みんなで気になる袋の中身を見せ合い、楽しいひとときを過ごしました。

## 冷温水発生機



大型クレーンで持ち上げ屋上に設置

令和2年度の事業として冷温水発生機を更新しました。冷温水発生機とは、灯油を燃料として気化熱で冷風を、加熱で温風を出すエアコンです。施設改築時(22年前)から使用していましたが、近年修理の頻度が多くなり、更新しました。埼玉県北部は、夏はフェーン現象等で暑く、冬は赤城おろしの強風で寒い土地柄です。この冷温水発生機を有効活用し、安心・安全な生活を提供していきたいと思っております。



# 女性カット

女性のカットは「美々ネット」が毎月来園し、2ヶ月に一度のペースでカットしていただいております。理髪室の前には、季節ごとに飾られた看板を用意していただいて雰囲気を出しています。カットの前に、どんな髪型にしたいか美容師さんが希望を聞いて、それぞれが好きな髪型にカットしてもらいます。毛染めをする方もおり、カットを終えた皆さんは、職員や入園者の方から「若々しくなったね」、「すごく似合っているよ」など声を掛けられ、とても嬉しそうです。



毎回変わる可愛い看板でお出迎え



カット中は鏡に向かい真剣です

# 出前食



豪華な、うな重が食べられてうれしい



いつもと違った豪華メニュー

年1回専門店の味を楽しんでいただくため、毎月対象入園者に出前食を提供しています。メニューは入園者から特に要望が多い「握り寿司・ちらし寿司」もしくは、「うな重」を選んでいただいております。

令和2年度はコロナウイルス感染症の観点から、会話をしながらの和気あいあいとした楽しい食事会はできませんでしたが、楽しい雰囲気を提供するため、手作りの箸置きを使用するなどの工夫もしました。

入園者からは「今年もおいしかったね。」「次の食事会はお話ししながら食べたい。」と感想が聞かれました。

# 新任職員紹介



令和3年4月入職 浅岡 由三郎

今までの他施設経験を活かし、羽生園のご利用者様に安心な生活の支援と、安全な生活環境が提供できますよう、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



令和3年4月入職 須永 妙子

入園者の皆さまが、毎日安心・安全、快適に楽しく笑顔で過ごせるようお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 悩み事相談

当園では、入園者の日頃の様々な悩みや相談を解決するため、月に2回「相談日」を設けております。令和2年度中の相談件数は24件あり、苦情解決、第三者委員に諮るような内容のものはありませんでした。その内容は、地域生活移行、社会生活自立に関することなどがありました。相談件数の多い「社会生活自立」は、子どもに会いたい。親族と連絡を取りたい。といった内容が多く占めています。これら相談のあったものについては、善処もしくは現在検討しております。

【相談内容】

食事4件・利用者関係1件・看護、医療2件・地域生活移行5件・日課に関すること2件・社会生活自立5件・居住環境1件・日常生活1件・その他3件

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症に、私たちだけではなく全世界もが悩まされた一年でした。羽生園での取り組みとして、生活様式の見直しと変更を行い、職員が一丸となって感染対策に努め、これまで行っていた行事も感染状況を見ながら規模や形を変えて実施してきました。幸い、当園では感染者を出すことなく生活できていることに感謝しております。さて、今年は東京オリンピックが開催されます。日本選手の活躍を楽しみにしている入園者もたくさんおります。皆さんで日本のチームを応援したいと思います。

来年度のふれあい通信発行は令和4年7月20日に発行となります。

研修広報委員会 企画発行 山岸 中村 坂下 篠原 漆原